

花巻市石鳥谷地域協議会 平成23年度第5回会議 会議録

【日 時】

平成24年2月23日（木）午前10時～午前11時35分

【場 所】

石鳥谷総合支所 旧議会棟 委員会室

【出席者】

地域協議会委員：菅原昭造会長、藤原真紀男委員、伊藤賢治委員、菅原久男委員、熊谷幸雄委員、高橋貢委員

（欠席委員：湊澤節子委員、長澤勝美委員、田中由一委員、鈴木俊一委員、主濱芳江委員、川村茂委員）

市側（支所）：菅原石鳥谷総合支所長、伊藤地域振興課長、関地域支援監、照井市民サービス課長、市民サービス課小原課長補佐、地域振興課佐藤課長補佐、高橋課長補佐、清水地域づくり係長、熊谷主査

【報 告】

○石鳥谷地域協議会協議内容を石鳥谷地域コミュニティ会議へ文書で情報提供したことについて

【協 議】

(1) 石鳥谷地域課題について

- ・石鳥谷地域の地域課題協議のまとめを行った。

(2) その他

- ・石鳥谷地域協議会の協議内容のお知らせを石鳥谷地域に行政区回覧することとした。

【その他】

会議を傍聴した者 なし

※ 会議での発言等は別紙顛末のとおり

※ 会議における配付資料は以下のとおり

「石鳥谷地域協議会における地域課題（自主開催審議事項）の協議内容について」（資料1）

「石鳥谷地域における地域課題について」（資料2）

「石鳥谷地域における地域課題の協議のまとめについて」（資料3）

「石鳥谷地域協議会だより（仮称）案について」（資料4）

※ 顛末

○ 進行／伊藤地域振興課長

1. 開 会 菅原久男副会長が開会を宣した。10：00

2. 挨拶

菅原昭造会長

早いもので平成23年度も終わろうとしています。今日は、午後は花巻市総合計画審議会が開催されます。3月中に何らかの諮問があれば別ですけれども、そうでない限り今回が最後の会議になろうかと思えます。私は、3期6年間この地域協議会の会長を務めさせていただきました。花巻市が発足以来、関わらせていただきました。特に今年に関しましては、正式な諮問事項がございませんでしたので、全て自主開催という、ある意味で、皆様方の時間をいただいております。地域協議会のあり方そのものには、いろいろな考え方があるようですが、私は、やはり石鳥谷地域で考えている事柄、仮にかなり素朴なものであっても地元の方々が常日頃考えていることを出し合って話し合うということは大変有意義なことでありますし、これらの全ては、何らかの形で近い将来成就するものもあるだろうと期待しております。2年間いろいろとご協力をいただきました。心から感謝の意を表したいと思えます。

私は、地域づくり、家づくりは、理想があつて現実がある、それを埋めていくことであると私は思っております。焦らないで、諦めないで、やめないで頑張り続けたことが、成果として現れるのだと思えます。私共は、地域課題を考える時に即効的なことを求めがちであります。実は50年40年かかると成就しないというのが実態であります。それでも諦めないで頑張ることが大切であると感じています。私が願っていることは、地域の人達がお互いに助け合って素晴らしいまちになりますように。お互い、老・壮・青みんなが、各年代考え方に違いがあるかもしれませんが、話し合えばわかる内容が大部分だと思っております。どうぞこれからも、次期の協議会の方々の引き継ぎとなりますけれども、今日のまとめをベースにいたしまして、この地域が素晴らしくなるように、私共も応援して参りますし、委員としてお残りになる方もいらっしゃるかもしれませんが、よろしくお願ひしたいと思えます。この2年間のいろいろなご貢献、ご労苦に心から感謝を申し上げまして、会長としてのご挨拶にさせていただきます。更に、事務局には大変お世話になりました。ありがとうございました。

3. 報 告

菅原昭造会長

それでは、報告ということですが、事務局から報告願います。

伊藤地域振興課長

資料No. 1により、去る1月26日に「石鳥谷地域協議会における地域課題（自主開催審議事項）の協議内容」について各地区コミュニティ会議代表者へ文書で情報提供したことを報告した。

菅原昭造会長

何か質問、ご意見ございませんか。

それぞれのコミュニティ会議ではそれぞれの課題に取り組んでいるわけではありますが、こちらからご提示申し上げた事柄を含めて検討いただければありがたいと思います。委員の皆さんも、それぞれの立場で会合の際にお話いただければと思います。

それでは、報告の部分はよろしいでしょうか。4番目の協議に入らせていただきます。

4. 協 議

菅原昭造会長

石鳥谷地域の課題について、今日は、まとめとなっております。

まず、資料No. 2の方をご覧になって、お気づきの点ございませんでしょうか。

では、(1) 戸塚森森林公園の整備について、いかがでしょうか。

これについては、よろしゅうございますか。

頷く委員多数。

菅原昭造会長

(2) 石鳥谷地域の子どもの医療問題について、これはいかがでしょうか。

よろしゅうございますか。

頷く委員多数。

菅原昭造会長

次に(3) 町のイメージを高めたいということについて。いかがでしょうか。

まとめとしては、ここに書かれてあるとおりコミュニティ会議とも協議しながら考えていこうということですし、これで地域協議会が終わりではありませんので、第4期の協議会へ大きな事柄は引き継ぎになっていくわけではありますが、何かこの機会にございましたら、ご意見はありませんでしょうか。

藤原眞紀男委員

石鳥谷も結構な人材があると思っっているんですが、この前20日でしたか、N-1（鍋ワン）グランプリというのが石鳥谷のビバハウスでありましたね。11時半から1時半まで、14店舗参加されていました。石鳥谷から5店舗ほか花巻市内の出店がありました。東京からも出店がありましたね。審査員が県の調理士会会長の新亀家の旦那さんでしたね。私が行ったのは12時前でしたが、12時前に完売して終わりということでした。審査委員の新亀家の加藤綱男さんは、日本調理士会の筆頭副会長さんですよ。且つ事業委員長ですから、日本の大きなイベント等の総責任者である方ですから、そういう方がおられるということで、そういうことからか、1時間で完売となり車も動きようがないくらい、凄く混みました。事業前はこれほど来ないのではないかという見通しだったようなので、何かの張り合いでこうなったのではないかと思うのですが、それを聞いてみたかったのですが。例えば、湯田であれば雪合戦大会とか、金ヶ崎町であれば犬ぞりの日本選手権というように、年に1、2回はこの石鳥谷をテレビで放送されると、住人としてはうれしいじゃないですか。そういうことを考えますと、ここに住んでいる池野恋さんですとか、そういう職人の加藤綱男さんでありますとか、優秀な方がおられると。何かそういう方々をもう少し盛りたてながら、何か石鳥谷というものをイメージアップ出来る要素は十分あるんだけど、何か今一つ盛りたてられないのが出来ないのが現状なのかなと思った一日でした。

菅原昭造会長

N-1（鍋ワン）グランプリについて、若干説明いただけますか。

伊藤地域振興課長

中心商店街の顔づくり事業の一環として実施したものです。今回は、東京、そして紫波町からの出店者もありました。今年は、来場者もおどろくほど人出があり盛況でした。グランプリにつきましては、完売してしまったために、後から来たお客さんが種類が食べられなかったのが、審査には向かないということで今回はグランプリを決めなかったと聞いております。うれしい誤算であったと思います。

菅原昭造会長

いろいろなイベントもあるでしょうし、人的な資源もこの町にあるわけですから、こういったことを、引き続き次の協議会でもお話し合いいただけるとありがたいなと思います。

ほかございませんか。

伊藤賢治委員

私が仕事の関係で遠くにいた時、たろし滝の測定が全国放送になっていました。今年も全国放送されたと思いますが、もう少し全国PRするためには、例えば、

大瀬川からシャトルバスを出して全国の記者を迎えるようにするとか、少し工夫が足りないのではないかと思います。

私は先々週、東和町の町の中の神社で神楽があって見に行ったんですが、社務所いっぱいに関内各地からお客さんが来ていました。それを見て、石鳥谷は少し消極的じゃないかなと思ったんですが、先程のN-1（鍋ワン）グランプリは盛況だったと聞いて大変いいアイデアだったんだなと思ったところです。

菅原昭造会長

地元では、今話を聞いてどういう感想を持ちますか。

菅原久男委員

確かに最初は素朴な測定会でしたが、最近是人出が多くなってきたということで、ポケットパークからは交通安全協会さんの協力を得て乗用車でシャトル運行をしましたが、全国的にするならば、駅から出すことも考えなければならないのかなと思いました。今回から、たろし滝測定保存会と賢治の会と共催で行ったんですが、東京、大阪の方も見えまして。今後話し合って、来ていただくだけでなくアフターケアも一緒に考えて、また、現地での受入体制は作らなければならないと、それぞれ今回見ていて思いました。

菅原昭造会長

テレビ、ラジオに取り上げられると大変インパクトがありますね。八日市のつるし雛はどうですか。

熊谷幸雄委員

今年は例年に比べて、天候が悪く人出が伸びていませんが週末の天候次第で、伸びてくるのではないかと考えています。団体はバスで老人福祉施設など参観者が来ています。展示は、新たな作品もあり廊下等のスペースも工夫して全館展示しています。また、写真、ストラップ販売、ストラップ作りを教えるコーナー等があります。新聞、テレビも取材に来ています。

菅原昭造会長

聞いてみますと、各地区にほかの地域に誇れる紹介できるものがあるんですね。それぞれに一生懸命やってくれる団体方々のご努力は可として、構造的に花巻市として、或いは石鳥谷地域としてバックアップするような仕組みを考えていくことが、私共の役割ではないでしょうか。いずれ、たろし滝、つるし雛のそれぞれの人達、或いは池野恋さんのような方々がこの町にいますから、それぞれを支えている人達の思いを大事にしながらバックアップするような仕組みを、市当局と一緒に考えていくその中に地域のコミュニティ会議があるというように理解したいものだなと思いますが、こういう形でいかがでしょうか。まだまだ

あるのかもしれませんが。お互い情報を出し合ってよりよい仕組みとなるようにしてほしいなと思いますし、次期の地域協議会にも引き継ぎの内容の大事なものとしていきたいと思いますがいかがでしょうか。

頷く委員多数。

藤原眞紀男委員

各地区のそういう主なものを、大瀬川ではたろし滝とか、八日市ならつるし雛であるとか、新堀なら戸塚森であるとか、好地ならN-1（鍋ワン）グランプリだったり、簡単な行事案内では作っているけれど、こういうようなものを本格的に池野恋さんに描いてもらって、或いは文章で肉付けしたりして、八幡の田んぼアート、八重畑の蘇民祭など各地区のことを、楽しく「おっ」と思うような感じに描くと面白いのかなと思いますね。

菅原昭造会長

そのとおりだと思いますね。藤原委員さんがおっしゃったような形で、一つの仕組みがあれば、花巻市全体、石鳥谷地域全体としてのアピールの力が出てくるのかなと思いますね。どうぞ記録お願いします。

あとごさいませんか。

熊谷幸雄委員

観光看板を各コミュニティに募集したことがありましたがどうなりましたか。

市政懇談会の時に、県設置の道路案内表示で、旧市と旧町の堺の看板を外し、アームだけになっているので活用してはどうかという話が出ました。ほかには、路線が変わったところの看板の付け替えがされていないところもあり、これらの活用もあっていいのではないかと思います。

菅原昭造会長

看板は宣伝効果あるわけですが、それぞれの地域にあるわけですので、支所の方に修正していただきましょう。

ほかごさいませんか。町のイメージを高めたいということについては、大変貴重な意見がたくさん出ましたので、これらはみんな、これからのまちづくりのための参考に、記憶に留めましていろんな場面で検討を加えることにしたいと思います。よろしいですか。

頷く委員多数。

菅原昭造会長

次は嫁婿問題ですが、自分たちの地域、集落だけでこの問題が解決できないこ

とはお互いわかっていることですので、これからの知恵の出し合いだと思います。ここまでとして、よろしいでしょうか。

高橋貢委員

解決というのではないのですが、個人だけではできないことですので、いろんな形で協力していただくようお願いをしていただければ、問題提起した本人としては、ありがたいと思います。

菅原昭造会長

昨日今日と、衆議院の委員会質疑を時々見ていると、とにかく物凄い人口減の時代が来ると。その前提条件が、今の話であります。男性の場合、3人に1人が結婚しないという考え方があると。そういう事態をどうやって打開するかということが非常に大事だ。難しく考えないで自分たちの子孫を残すような、教育もあるかもしれませんが、施策の中で農家の嫁、お婿さんの不足問題を対処しなければならない、決して放棄できない問題であります。

提案者の高橋委員さんのお話のありましたとおり、難しいことはお互い十分にわかるわけではありますが、常に関心を持って対処するようお願いいたしたいと思っています。このことも次への引き継ぎ事項としたいと思っています。

頷く委員あり

菅原昭造会長

それでは、次へ参ります。伝承芸能の維持継承ですが、これは関心の高いようではありますが、最終的にご確認をお願いいたします。

郷土芸能の発表の機会をもつことが刺激になってそれぞれの地域でもいろいろな形で盛んになっていきますし、コミュニティ会議でも取り組んでいるようですので、この問題についてはよろしいですね。

頷く委員あり

菅原昭造会長

東日本大震災に際しての安否確認と個人情報ですが、民生委員さんの立場で高橋委員さんいかがですか。

高橋貢委員

市の防災の研修会がありました。概要の情報がありましたらお願いします。

清水地域づくり係長

防災研修会の概要を口頭説明。

伊藤賢治委員

八幡には、11の自治公民館がありますけれども、その内自主防災組織を作ったのは、2つの自治公民館です。その公民館に発電機を配備しました。自主防災組織の組織化したら発電機を配備します、ということとしております。なかなか組織化が進まず何とか自治公民館毎に組織化したいと思っておりますが、なかなか進んでいません。今年、1つ組織化されて3自治公民館となりますが、組織化が進まず大変です。

菅原昭造会長

これも、花巻市が発足した時からの課題であります。6年かかって現在のよう組織化がされたということでもあります。

熊谷幸雄委員

八日市は3月に自治公民館単位で組織化し、4つの自主防災組織ができることになっております。その内1つの公民館は行政区が2つあります。大きな組織になりますが、安否確認を行政区やその班毎ではなく、隣接した5、6戸のグループで行うよう調整したようです。ほかの自主防災組織では、立ち上げてはまだ形ばかりのところもあります。まずは立ち上げることを目標として取り組んでもらったところでは。

菅原昭造会長

自主防災組織がある程度整備されて、それと民生委員さんが連携しながら万が一の時の安否確認をするということが、今回の問題提起だったわけですが、震災当時は電気がなくて連絡も取れませんでした。お話にありますように、公共施設、福祉施設などへ自家発電装置の配備が進んでおり条件整備が進んでいるところがあります。電気があれば情報の伝達など連携が取りやすくなると思います。個人情報の開示そのものは困難な面もあろうかと思いますが、いずれ自主防災組織で把握した情報はお互いに出しあえるということです。よろしいですか。

頷く委員あり。

菅原昭造会長

その次に参ります。敬老会の件ですね。意見には年齢の見直し等とありますが、24年度の市の予算の考え方は従来通りということでは。出席率や該当年齢の見直しとありますが、会場の問題、運営が合併前を踏襲しているため地域で違いがあることなどからのことと理解しております。ご意見ございませんか。

高橋貢委員

新堀では生活様式の変化からか、いす席の希望がでておりますので、会場の問題が今後でてくる可能性があります。

菅原昭造会長

このことについては、現段階では見直しではなく将来にわたっての課題ということにしていかがでしょうか。

「はい」という声あり。

菅原昭造会長

最後、放射能物質の問題です。まとめとしては、情報収集をしっかりと、住民に不安を与えないようにしようじゃないかということになっております。ご意見があればどうぞ。

伊藤賢治委員

放射線の簡易測定器の貸し出し状況はどうでしょうか。活用されていますか。

小原市民サービス課長補佐

昨年13件、今年に入ってから貸し出しがほとんどない旨回答。

伊藤賢治委員

利用者の一人は私ですが、自治公民館の集会で報告し、みなさんに安心していただきました。測定器を活用させていただき大変よかったと思っております。

菅原昭造会長

花巻市内で、放射線の高いところはあるのでしょうか。

菅原石鳥谷総合支所長

保育園、小中学校の放射線量測定結果と市の対応について概要報告した。

菅原昭造会長

資料のまとめのとおり、情報収集をして今後も監視し情報を提示いただきたいということによろしいでしょうか。

頷く委員あり。

菅原昭造会長

それでは、資料2、資料3で整理した課題を一通り確認いたしましたので、こ

のように処理して引き継ぎにさせていただきたいと思いますが、こういう形でよろしいでしょうか。お諮りいたします。

頷く委員あり

菅原昭造会長

特にご異存ございませんか。そして加えることは、今日お話いただいたことは補足という形で付け加えることといたします。

それでは、その他に入ってよろしいでしょうか。会議を進行して参ります。資料4を協議題として提案していきます。

伊藤地域振興課長

石鳥谷地域協議会における協議内容のお知らせについて、資料4により説明した。

菅原昭造会長

ご覧になっていかがでしょうか。ご意見があれば頂戴したいと思います。回覧方式でお知らせするというごこととさせていただきます。発行時期は、いつを想定していますか。

伊藤地域振興課長

年度内発行で、3月中に石鳥谷地域の行政区回覧でと考えています。

菅原昭造会長

問題は、市民の方々に協議した課題を承知してもらうことと、もともと当協議会は実施団体ではありませんし、関係団体が関わっておりますのでこのあたりが一つの線引きかなと思いました。

藤原委員さんいかがですか。

藤原眞樹男委員

はい。（頷く）

以下、菅原会長が委員一人ひとり出席者全員からお知らせ原稿案について確認をしたところ、全員が原稿案を了とした。

菅原昭造会長

それでは、こういう形で回覧にて市民の方々にお知らせをすることにいたします。

以上をもって協議の一切といたします。

5. そ の 他

菅原総合支所長から委員へ感謝のあいさつを述べた。

6. 閉 会 菅原久男副会長が閉会を宣言した。11：35